

令和2年度 研究外部評価（事後評価）におけるコメントおよび対応

整理番号	テーマ名	評価点	総合評価
20-C4	県産酵母を用いた有用物質生産	12.0	A
研究期間	平成29年度～令和元年度（3ヵ年）		
研究概要	有用物質（ビタミンB群、葉酸、グルタチオン等）の分析手法を確立するとともに、県産酵母が生産する有用物質を見出し、新たな機能性を明らかにする。		
外部評価委員のコメント			
<ul style="list-style-type: none"> ・研究成果として商品化まで達成出来ている点は非常に評価出来ると思います。また、コロナ禍でマスクに着目した点も素晴らしいと思います。出来れば商品特徴として類似品にない機能性を打ち出せば良いと思います。 ・商品化まで達成できたのは素晴らしいと思います。検討した有用物質量は酵母以外の材料（例えば食品等）に比べて高いのでしょうか。 ・「兼六園」というブランド以外にも付加価値を付けるのであれば、やはり高性能なものが得られる方が良いと思われます。効能面での付加価値増も期待したいです。 ・今回良い効果が得られた酵母の安定確保は可能なのでしょうか。実験時、培養分解液を用いていますが、これを化粧品化した際にも同様の効果が期待できるのでしょうか。 ・利用されたものはマスクでしたが、本研究の機能からすると化粧品や食品などに応用されることが望ましいです。 ・「兼六園八重桜」酵母というインパクトは大きいと思いますので県産プラス機能性があるとするれば、コスト面で多少劣っていても勝てるような気がします。 ・兼六園八重桜酵母の原料の量的確保は可能なのか気になりました。 ・実用化まで直結した事例として大変充実した成果が得られており望ましい形で事業が遂行されたと思っております。今後は取得した酵母株の他の株に対する機能面での優位性をさらにフォローしていかれるとさらに付加価値の高まった商品開発に繋がっていくかと感じます。 ・他の酵母よりも冷凍耐性が高いという点も非常に産業的に役立つ性質かと思えます。 ・商品にまでいっているので研究成果が出たのだと思います。 ・非常に楽しみな製品になりますね。金沢ブランドと融合していい商品に育てて下さい。 ・食品以外の分野でも県産酵母の有用性が数値で明らかになれば、利用者側が使用目的に合った酵母の選択が可能になりますので、今後も研究を継続していただきたいと思います。 ・なぜ兼六園の八重桜の機能性が高いのでしょうか。また他の県の八重桜はどうなのでしょう。 ・マスクは実際に売られているとのことですが反響はいかがでしょう。 ・今後は更なる研究で化粧品、サプリメントの実用化を望みます。 			

・当初の目標を達成し、県産酵母から有用物質や機能性を見出しました。さらに化粧品などへの利用にも目途をつけ、実用化への道すじを開いたと思います。今後は、有用物質と機能性の関連を明らかにされることを望みます。

・スケジュール通りに研究が進められており、その成果も目標通り挙げられています。成果の商品化も形となっています。

1. 発表文章中の次の用語について、定義や実態をより明確にしてください。

・酵母培養分解液、酵母エキス、表皮細胞、線維芽細胞

2. 現在、一般に流通している化粧品の効果との比較、例えば保湿に関する「セラミド」との比較はどうでしたか。

3. 安全性に関する検討は、どの程度実施されたのでしょうか。健康被害等が消費者に発生した場合の責任は製品化したメーカーとなるのでしょうか。